

【回覧】

第6回安否確認訓練を実施します

令和8年2月21日
南ユーカリが丘自治会
自主防災会
会長 塩田 芳享

南ユーカリが丘自治会の皆様へ

第6回安否確認訓練 **【マ・ド・ガ・ブ・タ】** ご協力のお願い

【実施日時】 2026年 3月 1日 (日) 午前9時～午前10時

【実施場所】 各自宅

【実施目的】 災害時の初動確認とご近所同士の「共助」意識啓発訓練です

【準備する物】 白タオル等（輪ゴムを通して半分にすると扱いやすいです）

あらかじめ掲げる方法を決めておいてください

玄関のドアノブにかける/ポストに挟み込む 等々。



訓練手順

3月1日午前9時 地震発生



→アナウンスはありません
タイマー等をセット願います

身を **マ** もる



→高い家具や窓、鏡の近くはNG

ド ア を開ける(スリッパの底は厚めの物を)



→揺れが収まったら避難路の確保

ガ ス の元栓を閉める真似



ブ レーカー を落とす真似



→大災害時は【必須行動です！】
安全が確認できるまで

玄関先に **タ** オル を掲げる



→大災害時は【必須行動です！】
周囲に無事を知らせましょう

9時20分までに外に出てタオルを掲出してください。

以上です

- ◆9時20分以降、班長がタオル掲出を確認して回ります（10時を過ぎたらタオルを取り込んでください）。
- ◆外出等の理由でタオル掲出が出来ないご家庭は、できれば事前に訓練しタオルを掲げてお出掛けください。
- ◆災害発生時の初動確認が目的の訓練です。
- ◆参加率を集計させていただきますので、積極的なご参加をお願いいたします。

■この機会に、各ご家庭の防災用品等の点検・確認をお願いいたします。

はらっぱ

第52号 2026年2月3日発行

編集・発行

佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)

はらっぱ編集委員会

〒285-0013 佐倉市海隣寺町 87

佐倉市ボランティアセンター内

TEL 043-484-6198 FAX 043-486-2518



作画・大橋カズミ

「V連」って知っている？

佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)は、佐倉市社会福祉協議会にボランティア登録している団体や個人の中で、V連の趣旨に賛同した団体・個人ボランティアで運営する組織です。会員同士の横のつながりを大切に、様々な行事を通して交流や情報交換をしています。1つの団体、一人のボランティアではできないことも、互いに連携することで新たな活動の幅を広げています。ぜひ一緒に活動しましょう。





地域で育てよう

佐倉小学校ガードボランティア「ひまわり会」

佐倉小学校ガードボランティア「ひまわり会」
 発足：平成16年(2004年)5月
 活動内容：見守り活動
 活動日：小学校登校日
 活動場所：佐倉小学校付近9か所

～見守り活動の始まりと取り組み～

佐倉小学校でのガードボランティアを始めたキッカケは、他校における不審者等の大きな事件(平成13年6月8日児童殺傷事件)があった事です。教育委員会から「地域力を活用した巡視」の綿密化が示され、地域で子どもを守る取り組みが求められました。佐倉小学校では平成16年5月より市民カレッジ生(40名)が交代で校内巡視を始めました。メンバーの大半が佐倉小学校区外でしたので1年後には4名になってしまいガード体制が危ぶまれる状況となりました。



～地域との連携と見守り体制の強化～

佐倉小学校区域の住民に募集を行い、現在は19名で佐倉小学校へ通学する子ども達の登下校を9か所で見守っています。ひまわり会の会員は高齢者中心ですが「地域の子供達を温かく見守り、触れ合ってください方」をいつでも募集歓迎します。

今のところ大きな事故、事件も無く子ども達は登下校をしており、朝の挨拶よりも帰りの方が元気に「さようなら」と挨拶してくれます。



学校内に「ひまわり会」の部屋があり、年4回の定例会を開催しています。校長先生・教頭先生・PTAの役員の方々と共に、登下校の様子や危険箇所を話し合い改善につなげております。また、佐倉市教育委員会主催のアイアイプロジェクトフォーラムにも参加し、活動の質を高め地域との連携を深めています。

～子ども達との交流と今後の展望～

学校からは、運動会などの行事に招待いただいたり、2月には「ひまわり会」の皆に感謝集会を開催していただきます。子ども達から心のもったお手紙や手づくりの品を頂戴し活動の励みになっています。

この温かい気持ちに応えるべく「ひまわり会」としても子ども達がこれからも元気に登下校できるよう見守りを続けていきたいと思ひます。



随時会員募集中です！



※アイアイプロジェクト：地域全体で子ども達を育てる環境を充実させることを目的
 (eye目→安全確保、愛heart→子ども達と地域の皆さんの心の通い合い)

6月13日「ひまわり会」定例会に参加しました！

日頃より活動に参加されている方達のお話を聞いて、毎日の活動は大変だなと感じました。毎日活動する登下校通学路で得る情報が、子ども達を守る事につながる大切な仕組みとしての存在意義を感じました。実際に朝早くから活動したり、猛暑の中でもシニアの方達が体調を考慮しながら、やりがいを持って行える地域型の良い活動であり、今後も継承して行ってほしいと思ひます。

「クルクルキッズカフェ(こども食堂)」 吉野 記

ピクトグラム(内閣府の「障がいに関するマーク」から抜粋)

単純化された図柄で特定の意味を表現する記号です。言葉を使わずに情報を伝えられるため、言語の壁を越えたコミュニケーションツールとして活用されています。



目マーク 聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。相手が「聞こえない・聞こえにくい」ことを理解し、コミュニケーションの方法等への配慮(口元を見せゆくり、はっきり話す・筆談で対応する・呼ぶときは傍へ来て合図する・手話や身振りで表すなど)をお願いします。

子ども達の未来



クルクルキッズカフェ(こども食堂)

クルクルキッズカフェ (こども食堂)

発足: 令和6年(2024年)12月

活動内容: こども食堂

活動日: 毎月第2土曜日 17時~18時

活動場所: 佐倉市飯野

KuRuKuRuCAFE 令和5年(2023年)11月~



代表の吉野さん

~子ども食堂を始めたキッカケ~

カフェの経営は美味しい食事と心地よい雰囲気をお客様に提供するのが役割ですが、それと同時に地域の役割があると感じています。やはり地域の子供達、そして子供達の親御さんに何か支援が出来たらという思いで「こども食堂」を始めました。

毎日繰り返しの食事の支度は大変です。「たまには子供達と一緒にカフェで食事しよう!」「多少、子供が騒いでしまっても大丈夫」そんな安心してご飯を食べられる場所を提供できたらと思いました。



~古民家を改装した新しい拠点~

KuRuKuRuCAFEは、佐倉市のランドマークである風車の近くの古民家を自分達で改装。令和5年11月オープンしました。リユース、リサイクル、循環をテーマに、いろいろなグラスを欲しい人へあげる活動や地域の規格外野菜を使った料理を提供するなど、地域に根ざした活動を行っております。

毎月のイベントとして、美味しい物を食べながら語らう会「焚き火会」(第4土曜日)によるコミュニティの運営とともに、「クルクルキッズカフェ」(第2土曜日)を運営し、近隣家族の皆さまにご利用いただいております。

~食事作りの負担を少しでも軽く~

「こども食堂」を始めて気づいたことは、比較的に子供の多いご家庭の方が参加されているように感じたことです。子供が多ければ、毎回食事のたびに大変な労力がかかります。月に一度ですが、お母さんが食事を作らずに、お腹いっぱいご飯が食べられれば負担も減ります。少しだけですが「クルクルキッズカフェ」に協力出来たら嬉しいです。

~地域の優しさに励まされて~

また、ボランティアとしてお手伝い下さる方や、食材のご提供を申し出て頂ける方が沢山いらっしゃる事に心から感謝しております。募金箱にも多くの方が支援してくださり、地域の皆さまの温かさに日々励まされています。



6月14日 「クルクルキッズカフェ (こども食堂)」に行ってきました!

右に山林、左に田んぼと田園風景の中にたたずむ古民家カフェに到着。改装したとは思えないぐらいの本格的で素敵な空間で、「こども食堂が月一度だけだなんてもったいない」と思いました。約40席ある店内には、開始時間になると子供達や保護者の方で満席になりました。皆さん和気あいあいと楽しそうにお食事をされていました。私達もカレー、春巻き、サラダ、飲み物を美味しくいただきました。スタッフの皆さんもとても感じよく接して下さり嬉しく思いました。クルクルキッズカフェは誰でも気軽に立ち寄れる場所となっていて、子供や保護者にとっても、人と人の良いつながりの場となっているのだと思います。素敵な場所で心とむ時間を過ごさせていただきました事に感謝です。

佐倉小学校ガードボランティア「ひまわり会」大木 記



障害者のための国際シンボルマーク
障害者が利用できる建物、施設であることを明確に示すための世界共通のシンボルマークです。(注: 駐車禁止を免れる、または障害者専用駐車場が優先的に利用できるなどの証明にはなりません)



「白杖 SOS シグナル」普及啓発シンボルマーク

白杖を頭上50cm程度に掲げてSOSのシグナルを示している視覚に障害のある人を見かけたら、進んで声をかけて支援しようというシンボルマークです。進んで声をかけ、困っていることなどを聞き、サポートをお願いします。

佐倉市ボランティア連絡協議会 令和7年度活動報告

第1回運営委員会(総会)4月29日 志津コミュニティセンター



1部：R6活動・決算報告/R7予算案
2部：講演会
佐倉市社会福祉協議会事務局長
深沢孝志氏より「今求められるボ
ランティア活動とは」と題して、福祉
教育や災害ボランティア活動など
のエピソードを交えながらお話を
いただきました。

バス研修会 7月10日 建設技術展示館(松戸)



快晴の中、建設技術展示館で作業車
の見学や体験、車椅子移乗や白杖歩
行を通して段差や点字ブロックを
体感し、バリアフリーの必要性を再
認識しました。災害時に活躍する作
業車への理解と感謝が深まり、昼食
ではゆったりした時間を過ごし交
流の輪も広がりました。

印旛地区ボランティア交流会 10月10日 「末廣農場」交流スペース(富里)



近隣V連6市町(成田/八街/富里/
栄/酒々井/佐倉)の交流会に参加。
テーマに沿って意見交換が行われ
「会員を増やすには？」という問い
に対し、ある団体からは「発想を変
え“楽しむこと”を中心に活動した
ら仲間が増えた」との報告がありま
した。楽しさこそ継続の力ですね!!

個人ボランティアのつどい 11月15日 佐倉市社会福祉センター



講演会では詐欺の手口と対策につ
いて学び、交流会では各活動に関
する情報交換を行い、課題解決へ向
けた前向きな議論が深まりました。
参加者一人ひとりが積極的に意見
を出し合い、より深い交流と建設
的な話し合いが展開され、時間が足
りないほど充実した会となりました。

「市民活動発表 2025」 11月30日 佐倉市中央公民館



市民公益活動サポートセンター主催
〈テーマ〉～伝える・広がる・私たち
の活動～に参加。多くの来場者が体
験ブースをめぐり賑わいました。
V連では、車椅子・白杖・ピクトグ
ラム体験ブースを実施し、参加者か
らは「体験することで気づくことが
ある」という声が寄せられました。

第2回運営委員会 12月7日 志津コミュニティセンター



今年前半の活動報告に続き、第2部
で「デジタル・リテラシー/スマホ
の安全な使い方」を受講。デジタル
技術を理解し、安全に活用する力を
身につけるとともに、スマホを正し
く使う大切さを学びました。ロック
未設定は個人情報流出の危険があ
るなど、気づきの多い内容でした。

佐倉市障害者作品展 12月11~14日 「ふれあいギャラリー」佐倉市立美術館



佐倉市主催

実行委員として参加協力(展示手伝い)
作者の皆さんが、日常で感じたこと
や日々の想いを力強く表現され、来
場者に感動と新たな視点を感じさ
せる作品が展示されました。
作品展を通じて障がいへの理解が
深まり、作者の創作意欲や生きがい
に繋がるよう、より多くの方にご覧
いただきたいと感じました。

第44回ボランティアのつどい



2026年2月11日(水・祝)
10時~13時半(受付9時30分~)
於:志津コミュニティセンター 大ホール
主催 佐倉市ボランティア連絡協議会
共催 佐倉市社会福祉協議会 後援 佐倉市
お問い合わせ 佐倉市ボランティアセンター内
TEL 043-484-6198 FAX 043-486-2518

「つながろうボランティア! 世代をこえて未来へ!」

日時:2026年2月11日(水・祝)
10時~13時30分
会場:志津コミュニティセンター
内容

- ① ボランティア活動の発表
☆順天堂大学
☆県立佐倉西高等学校
☆臼井地区社会福祉協議会
コーディネーター:松山毅 前任准教授
(順天堂大学 スポーツ健康科学部)
- ② グループトーク
昼食(チキンカレー)
- ③ みんなでからだを動かそう!!

編集後記

春の訪れが待ち遠しい季節。古今を問わず桜を慕う心は皆同じようで、遠い昔、西行法師が愛した
白く可憐な山桜は、900年の時を経て今なお私達を見守り続けているようです。
この桜と共に、私達も、未来を生きる子ども達を明るく照らし見守り続けていきたいですね。



回 覧

地域の皆様

令和8年2月吉日



ユーカリが丘地区社会福祉協議会
会 長 堂 満 憲一
第4ブロック長 岩井ちはる

住民福祉懇談会の開催のお知らせ

【おひとりさまの終活】

立春の候、皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃よりユーカリが丘地区社会福祉協議会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。今年度、第4ブロック住民福祉懇談会を下記の通り開催いたします。

「終活」が注目されています。「終活」は、人生の最終段階への備えという意味合いもありますが、自分らしい生き方を見つめ直す機会でもあります。「終活」は、特におひとりさまにとって、将来の不安を減らし、これからの毎日をより自分らしく、心地よく生きるための前向きな準備でもあります。今回の懇談会では、最近の国の新しい取組みなどにも触れながら、財産の管理、医療、介護への対応、葬儀やお墓のこと、ペットのことなどについて、弁護士に、基本的なこと、気をつけたいことを解説してもらいます。肩の力を抜いて、一緒に「自分らしい終活」を考えてみませんか。

「おひとりさま」でなくとも、「終活」に関心ある方は、ぜひご参加いただけたらと思います。

記

日 時	令和8年3月22日(日曜日)午前9時30分開始(1時間)
場 所	西部地域福祉センター2階 研修室
住 所	佐倉市中志津2丁目32番4号
内 容	おひとりさまの終活
講 師	吉野 智 弁護士(東葉法律事務所代表)
参 加	自由参加となります(事前申し込み不要)

問い合わせ先

ユーカリが丘地区社会福祉協議会事務局 稲越 TEL: 043-460-1781(火水金 13時~17時)